



広報まちづくりかなうら

第25号 令和6年10月1日 金浦地区まちづくり自治協議会広報委員会

金浦地区まちづくり自治協議会の「交通・防犯部会」では、最近急増し、大きな社会問題となっている「**特殊詐欺等の消費者被害防止**」を中心とする**防犯教室**を開催しました。

防犯教室<初開催>

日時 7月21日(日) 10時～
場所 金浦公民館
参加数 30人
講師 岡山県警察笠岡警察署
笠岡西交番 林 良彦 巡査部長
生活安全課 宮本健史 巡査長



決して他人事ではありません。皆さん真剣そのもの！



林巡査部長(左)と宮本巡査長

防犯教室では、講習に先立ち、市民病院西側の国道2号沿いに、5月15日に開所式が行われました「笠岡西交番」についての説明がありました。金浦、吉浜駐在所と城見交番を「笠岡西交番」として統合し、事件・事故発生時の迅速な対応を狙いとするものです。

また、「駐在所」と「交番」の違いの説明もありました。

駐在所

警察官一人が駐在所に居住。

日中は、駐在所員が勤務し、夜は笠岡警察署員が、巡回パトロールし、警戒にあたる。

緊急時は、「110番」か笠岡警察署(0865-63-0110)に連絡。

交 番

複数の警察官が交番に24時間体制で勤務。

不在の場合、交番相談員が対応。

また、交番内の電話で警察署と通話できる。

昼夜、地域をパトロールし、警戒にあたる。

緊急時は、「110番」か笠岡警察署(0865-63-0110)に連絡。

交番には、加入電話はない。



安心・安全の拠点です。笠岡西交番！

防犯教室講習内容① 特殊詐欺等の消費者被害防止



岡山県警察のSTOP! 特殊詐欺防止チラシ（表）

特殊詐欺発生状況

- 岡山県内（令和6年1～6月）約1億7千万円
笠岡市内（令和6年1～6月）約870万円
- *被害届を出した方だけの集計であり、実際はもっと多い。
 - *誰にも相談せず、相手の話を信じて金を振り込んだケースが6割ある。

主な手口紹介 *①と②で過半を占める。

①架空料金請求詐欺

- ・パソコンサポート詐欺
「ウイルスに感染している」と表示があり、ウイルス除去名目として電子マネーで支払いを要求される。
- ・メール詐欺 架空事実で金を要求される。

②還付金詐欺

- ・役所などから、還付金があるとATMに誘導され、口座から送金させる。



岡山県警察のSTOP! 特殊詐欺防止チラシ（裏）

被害防止対策（その1）

①防犯機能付き電話・留守番電話機能を活用する

- ・犯人からの最初の接触は、自宅の固定電話が多い。
- ・電話の相手に自動で警告を発してくれる防犯機能付き電話を導入する。
- ・在宅中でも、留守番電話となる機能が付いている電話を活用し、相手を確認してから電話に出るようにする。

②誰かに必ず相談する

- ・金やキャッシュカードの話が出たら、いったん電話を切り、必ず家族や警察などに相談する。

被害防止対策（その2）

①キャッシュカードを渡さない

- ・警察官や銀行協会職員を名乗った犯人が「口座が不正に利用されている。キャッシュカードを確認したい。」と電話をかけてくる。
- ・犯人に自宅で「不正に使われていないか確認する」と言われても、キャッシュカードを渡さない。

②暗証番号を教えない

- ・暗証番号を教えなければ、キャッシュカードから出金されない。

③インターネットは「https」を見る

- ・インターネット上の情報の所在を示すURLは、より安全性が高い「https」を見るようにする。

STOP! 特殊詐欺

**あなたの
キャッシュカード
が狙われています!**

特殊詐欺 **注意**

キャッシュカードは誰にも渡さない!
暗証番号は誰にも教えない!

岡山県金融機関防犯連合会・岡山県警察

岡山県金融機関防犯連合会・岡山県警察のチラシ

防犯教室講習内容②交通事故防止〈自転車事故〉

自転車事故の防止

①ヘルメットを着用する。〈努力義務〉

- ・自転車死亡事故の4割以上が頭部を損傷している。
- ・ヘルメットの着用により、致死率を1/4以下に減らせる。

②反則金を納入させる「青切符」が導入された。〈2年以内に施行〉

- ・信号無視や一時不停止、携帯電話を使用しながらの運転など、重大な事故につながるおそれのある違反が対象となる。

③悪質な違反には「赤切符」(刑事罰)

- ・酒酔い運転や酒気帯び運転などは、これまでどおり「赤切符」が交付され、刑事罰の対象となる。

自転車はクルマの仲間。

守ろう 交通ルール

STU48 内海 聖香

自転車も車の仲間です。ルールを守らないと罰則があります。一時停止場所で止まらないと違反です。信号を守らないと違反です。スマホを見ながら運転するのは違反です。
ヘルメットの着用は、命を守るために非常に有効です。自転車乗車中の交通事故で亡くなった方のうち4割以上が頭部を損傷しています。ヘルメットの着用によって、致死率を4分の1以下に減少させることができます。事故をして大けがをして後悔することのないよう、自転車に乗る際は、必ずヘルメットを着用しましょう。

岡山県警察 (一財)岡山県交通安全協会

岡山県警察・岡山県交通安全協会のチラシ

金浦中学校生徒アンケートに基づく危険箇所の改善

- ★「交通・防犯部会」では、金浦中学校の生徒の皆様からいただきました「SDGs安全アンケート調査」をもとに 通学路等の危険な場所の改善や点検整備を進めています。主な改善状況についてご紹介いたします。

1 菅原神社の横から旭が丘への道の本が茂って外灯を^{みさ}塞いでいる。

- ・ 外灯が設置されている5箇所の道付近の本が茂って、外灯の役割を果たしていない。
- ・ 外灯の電線にも、木の枝やツルが覆いかぶさっている。



改善

- ・ 土地所有者の許可を得て、地区のボランティアで、外灯周辺の本の伐採や枝打ちを行いました。
- ・ 外灯の電線に覆いかぶさっている枝などについても取り除きました。



道路清掃や道路周辺の除草も地区のボランティアで定期的に継続していきます。

2 農免道を横断して金浦中学校に入る信号機が見えにくい。

- ・ 太陽光の反射で信号が見づらく、赤信号でも車が止まってくれない。
- ・ 信号機下部の横断歩道の白線、緑線の塗装が薄くなっている。

改善

- ・ 青信号でも、左右をよく見て、車の停止を確認して道路を渡る。〈中学生に徹底〉
- ・ 白線等は認識しづらくなったら塗装する。〈市〉



左右をよく見て横断します。